

# 熊野町立熊野中学校区の 実践 成果と課題



探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業



## 今年度の研究テーマ

---

(昨年度)

「小中学校で系統性をもたせたよりよい自分を創造するための  
地域を題材とした単元の開発」

(今年度)

「地域を題材とした単元における表現力の育成  
～ルーブリックの活用を通して～」



## 昨年度の成果と課題

### (成果)

- 資質・能力を小中の系統性をもたせる形で整理できた
- 小中共通のルーブリックを作成できた

### (課題)

- ルーブリックの活用
- カリキュラムの内容レベルでの連携



## 研究の進め方

課題

- ルーブリックの活用
- カリキュラム内容レベルでの連携

方策

- 各校における「表現力」のルーブリックの活用

単元

- 発達段階に応じ防災・減災学習を含めた「地域」を題材とする単元の開発



## 育成する資質・能力

メタ認知		協働		表現力	
第一小	第三小	第一小	第三小	第一小	第三小
わかる・できる力 振り返る力	分かる・できる力 向上心	協働する力	思いやり	自分の考えを 表現する力	表現力
熊野中 自己分析 スキルアップ		熊野中 協働 前向き		熊野中 表現力 クリティカルシンキング	



「メタ認知」「協働」「表現力」の  
3つの領域を設定

→各校の資質・能力を整理  
→小中学校で段階性をもたせる



## 表現力のルーブリック

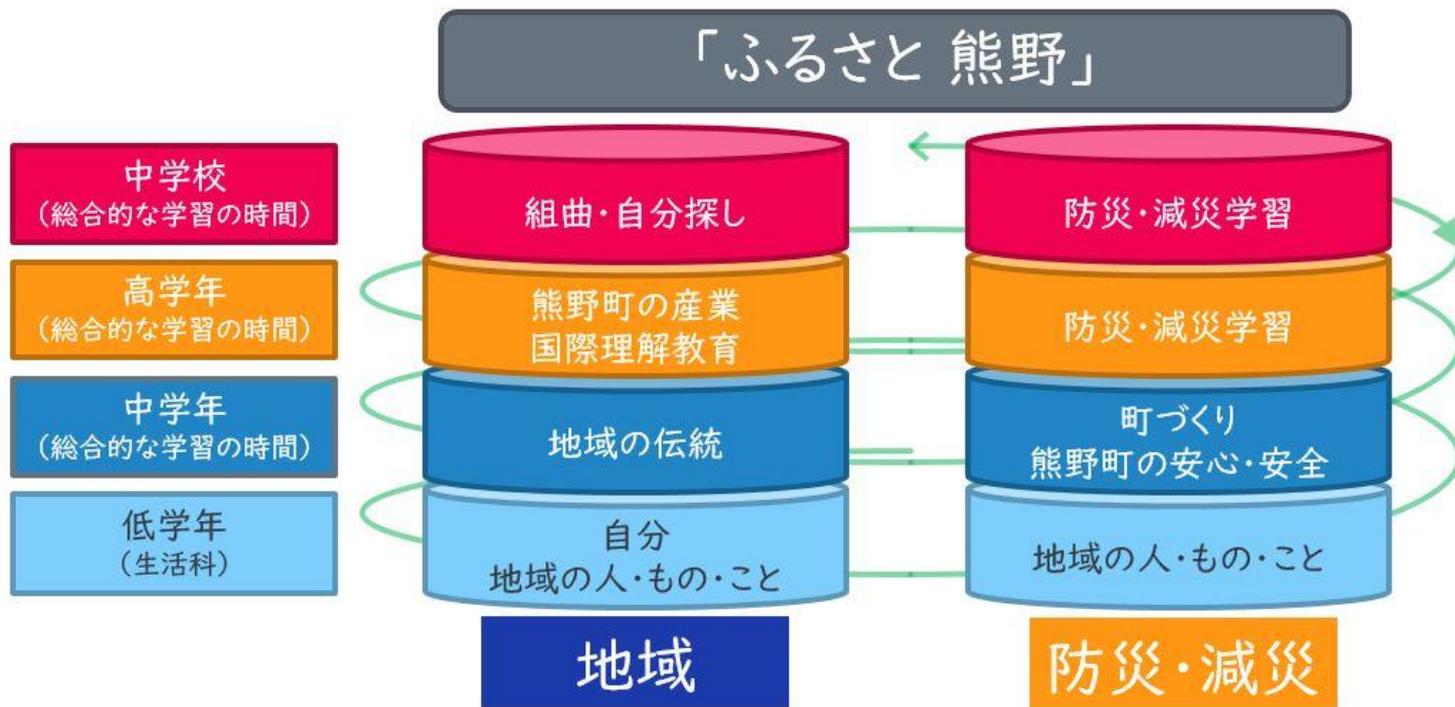
目安	【表現力】 自分の考えをまとめ、言語表現し、他者に伝える力
中3	自ら課題を設定し、解決に必要な情報処理を適切に行い、議論によって導き出した解決案を表現を工夫して発表するとともに、見出した解決案の具体的な実現をめざす。
中2	自ら課題を見つけ、解決に必要な情報処理を適切に行い、議論によって導き出した解決策を表現を工夫して発表するとともに、見出した解決案を多面的多角的に検証する。
中1	課題を多面的に捉えたうえで、目的に応じて情報を集め、話し合い、表現を工夫してまとめ、導き出した解決案を発表する。
高学年	相手や目的、意図に応じて、資料を活用するなど効果的な表現方法を選んで書き表したり、伝えたりしている。
中学年	自分の考えや調べたことを、相手や目的を意識して書き表したり、伝えたりしている。
低学年	気付いたことや考えたこと、楽しかったことなどを、多様な方法（言葉、絵、動作、劇化など）で表現し、伝えている。



## ループリックの活用

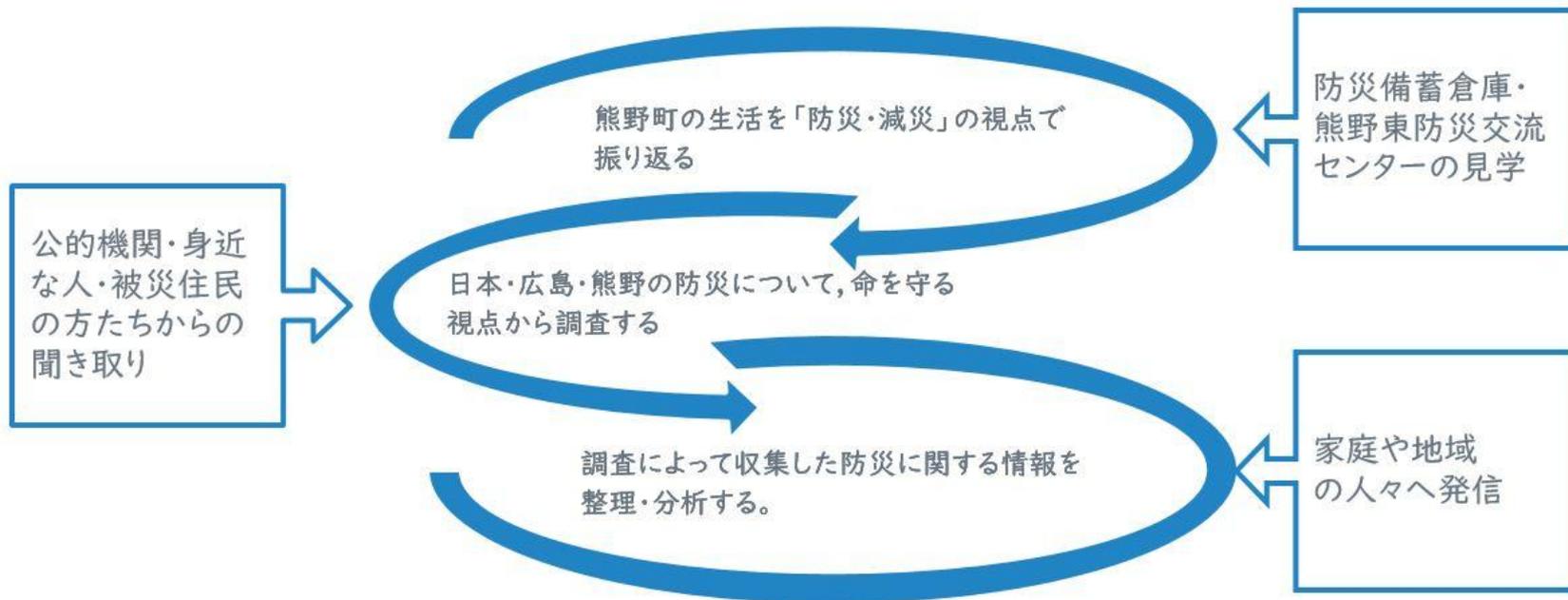
資質・能力	Aの例	B	Bに到達させるための手立て
表現力	防災・減災について、自ら課題を見つけ、解決に必要な情報処理を適切に行い、解決案を表現を工夫して発表するとともに、見出した解決案を多面的多角的に検証し、ブラッシュアップしている。	防災・減災について、自ら課題を見つけ、解決に必要な情報処理を適切に行い、解決案を表現を工夫して発表するとともに、見出した解決案を多面的多角的に検証している。	グループ内で考えを交流・共有させるとともに、ポイントを整理して示し、選択させることで支援する。

## カリキュラムの内容レベルでの連携

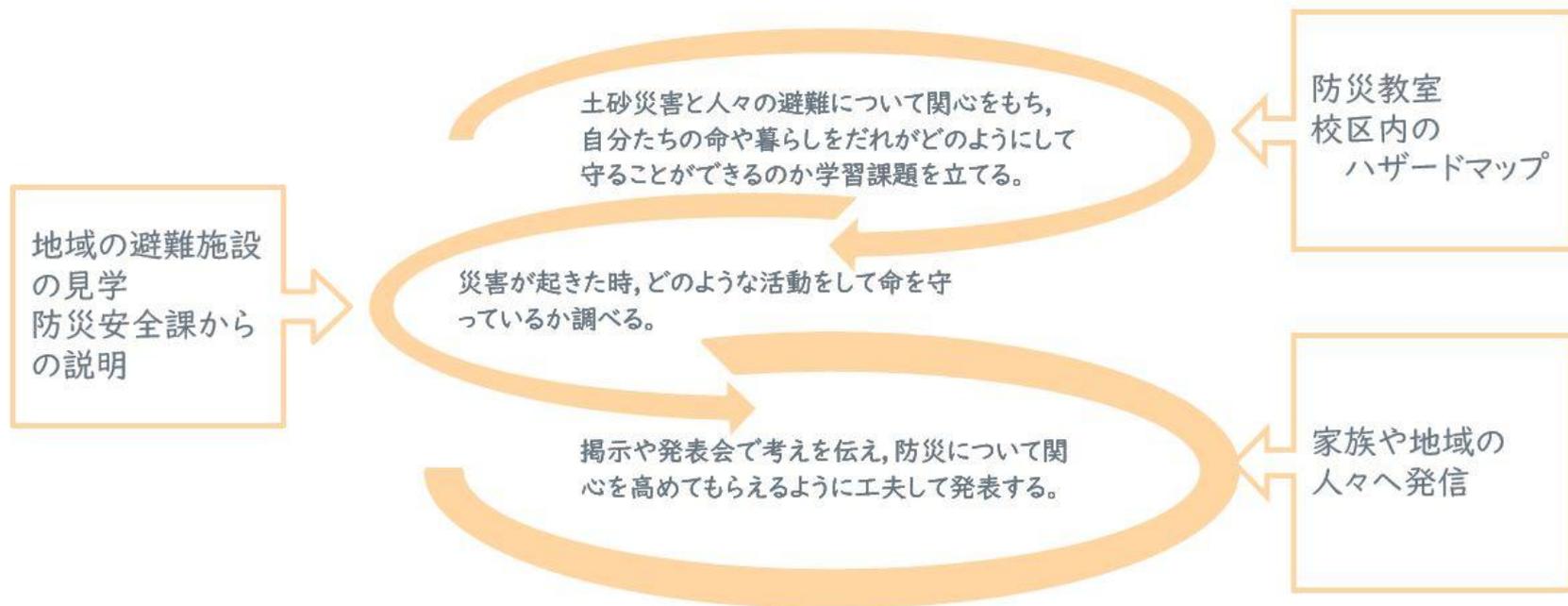




## 単元の開発 (熊野第一小学校「伝えよう！命の守り方」)

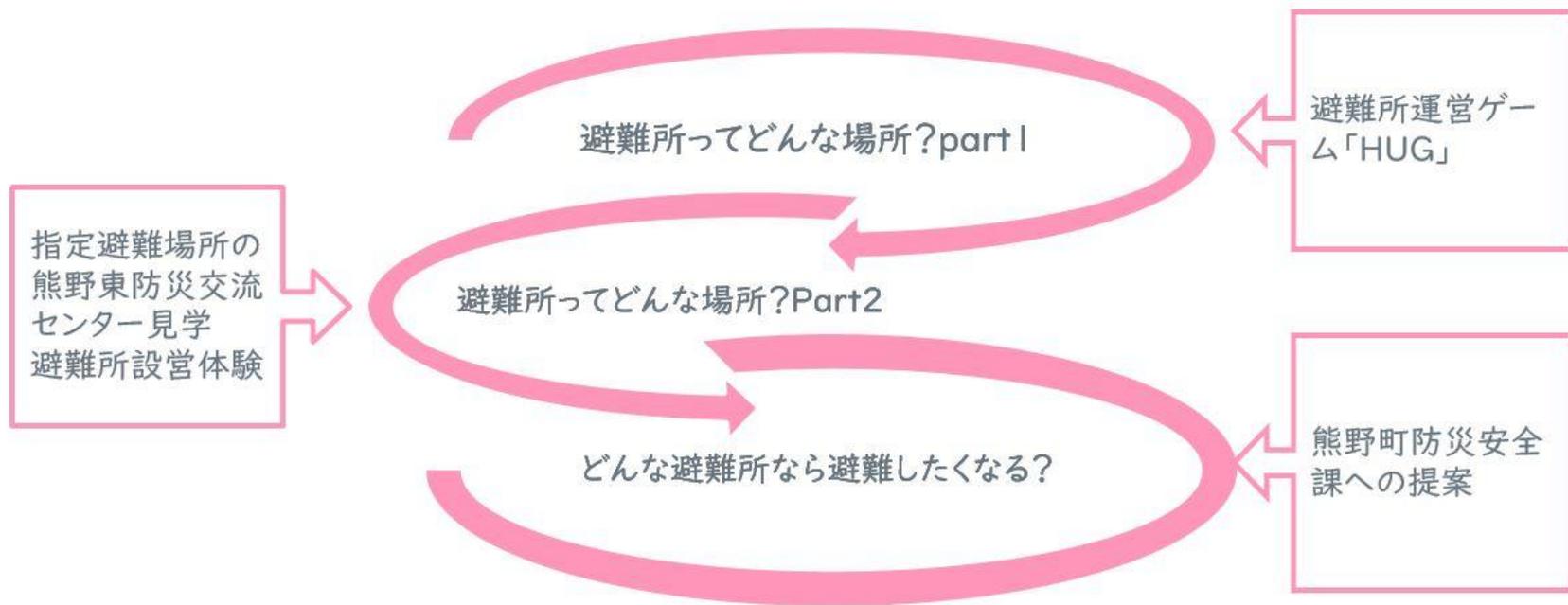


● 単元の開発  
(熊野第三小学校「伝えよう！命の守り方」)



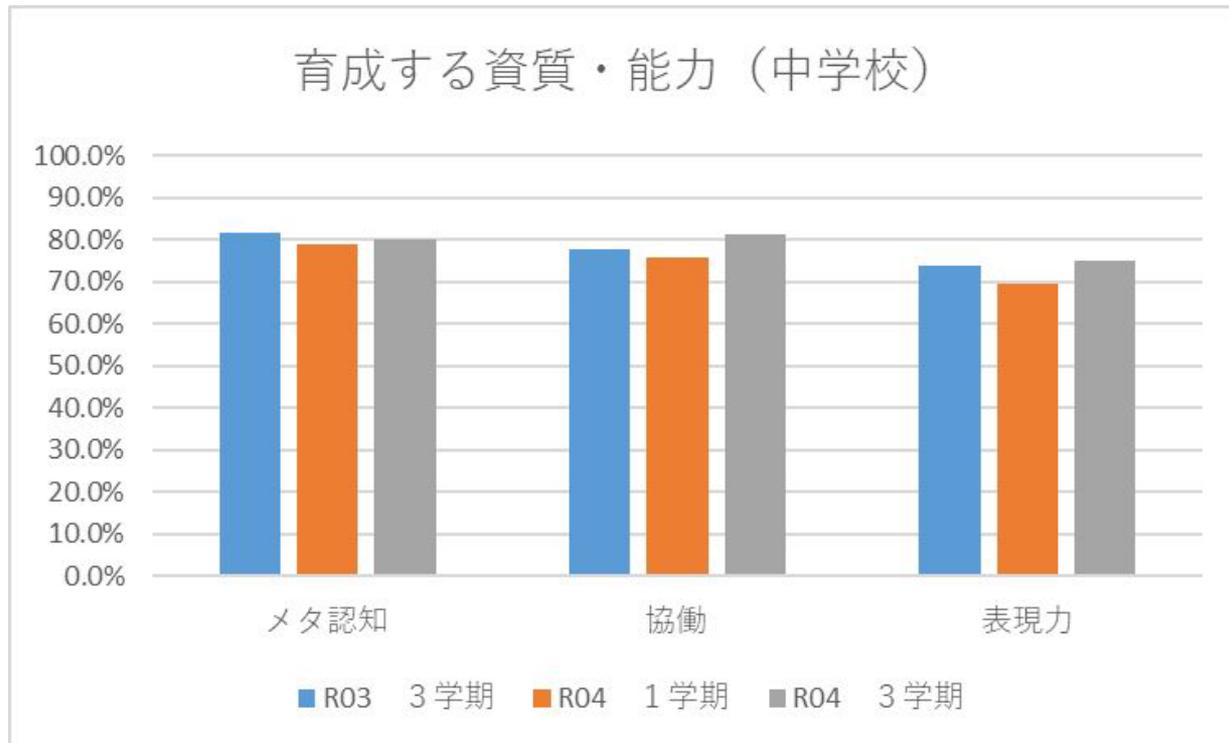


## 単元の開発 (熊野中学校「“避難したくなる避難所”を自分たちでつくろう」)



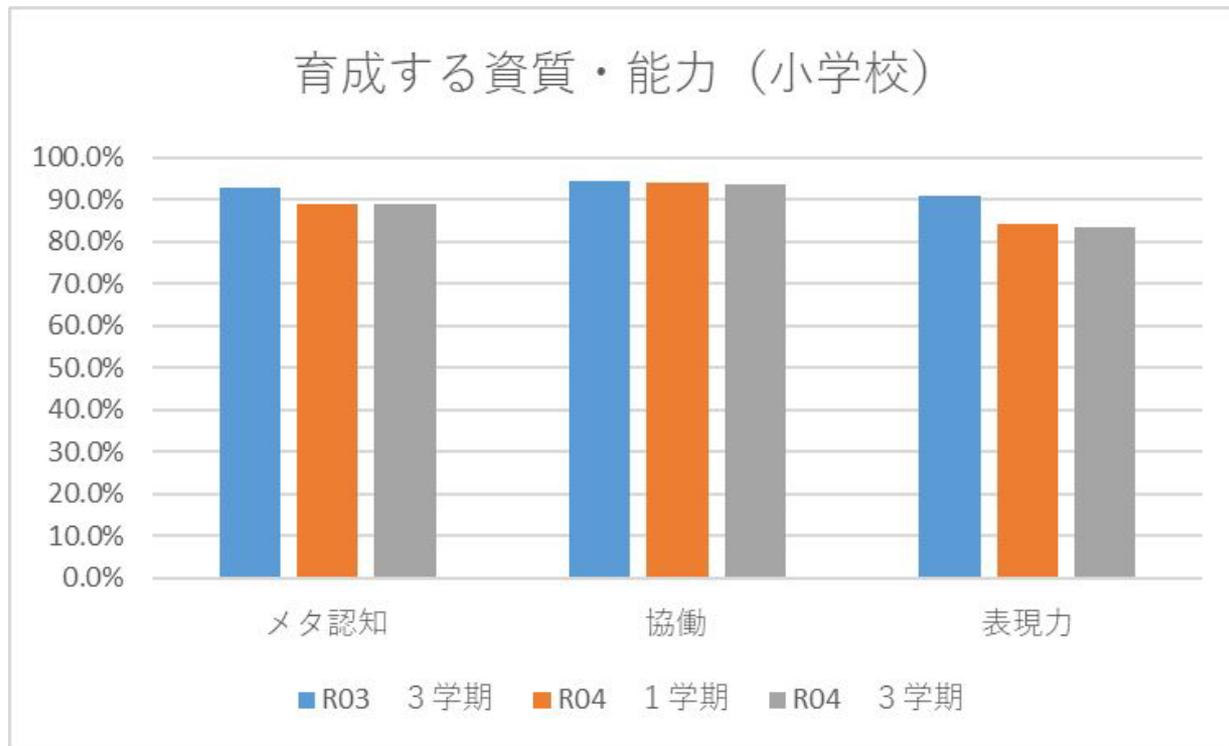


## 成果と課題



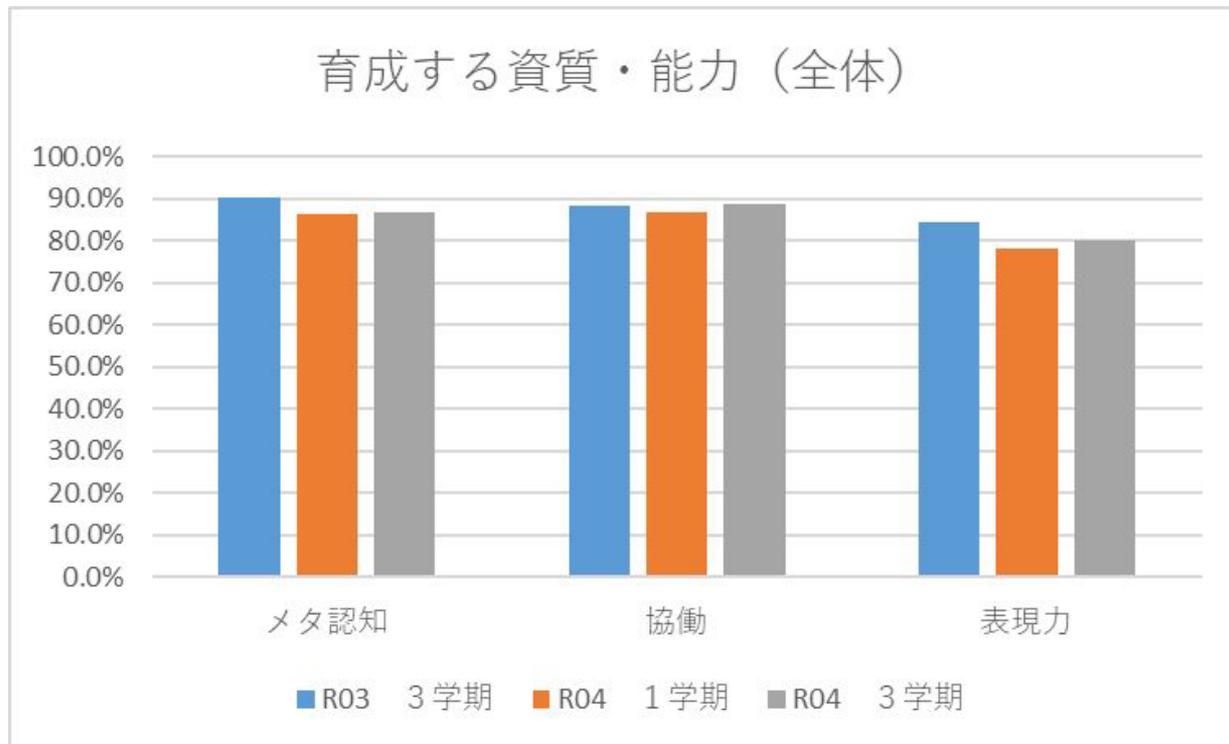


## 成果と課題





## 成果と課題





## 成果と課題

### (成果)

- ルーブリックを意識した単元開発の実施後に行った、熊野中学校における生徒アンケートの結果において熊野中学校区で設定した育成したい資質・能力の「メタ認知」「協働」「表現力」のすべての領域において、生徒の自己評価が向上した。
- 中学校において3学年分、小学校においてはそれぞれの発達段階に応じて、「防災・減災学習」の単元を開発することができた。
- 各校で開発した単元において、「学びを深める」「課題を自分ごととしてとらえる活動」を取り入れることができた。その活動の中で地域の人々や機関などと協働して学習活動を進めることができた。
- 中学校第3学年の「自己表現」活動で各生徒が自分のことを方法を工夫しながら表現できるようになった。



## 成果と課題

### (課題)

- 全体での育成したい資質・能力の評価が伸びていないため、それぞれの段階で身に付けさせたい力を児童生徒と共有し、さらに効果的に開発した単元を改善していく必要がある。
- 各単元での評価場面が文章表現ではなく、作品やプレゼンテーションの場合もあるため、ルーブリックの見直しを今後も継続する必要がある。
- 「防災・減災学習」においては、内容で重複する場合があるため、発達段階に応じて、学習する内容などを小中学校で確認し、系統的に学習できるように単元の改善を進める。
- 「より質の高い学び」を実現するために、「育成したい資質・能力」の内容を小中学校でそれぞれ改善し、共有する。